

寝屋川北部地下河川及び松原南調節池の対応について

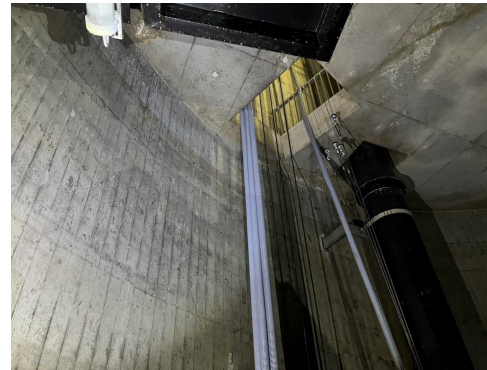


○今回発生した事象

- ・流域全体で地下河川や増補幹線、流域調節池、遊水地により約263万m³の雨水を貯留。
- ・26日明け方の豪雨で北部地下河川、南部地下河川では約30分から1時間程度で満管（合計89万m³）となった。
また、全25箇所中7箇所の流域調節池で貯留率100%に到達。
- ・つづく27日の台風接近に備え、貯留施設の排水作業に取り掛かったが、26日午後からの排水時に寝屋川北部地下河川でポンプ5台の内2台に不具合が発生した。
- ・全25箇所の流域調節池のうち、1箇所ですべてポンプの不具合により排水不可が発生。

○貯留状況写真（令和8年7月1日16時時点）

《寝屋川北部地下河川 古川立坑》



仮設ポンプによる排水状況

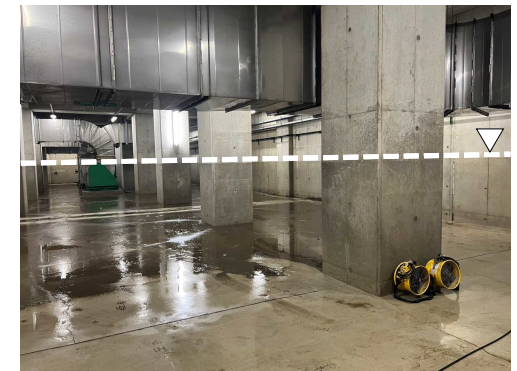
《松原南調節池》



貯留階（B3）につながる階段



仮設ポンプによる排水状況



貯留階の上階（B2）の浸水痕跡

○現在の状況

- ・不具合のあったポンプはいずれも稼働しており、順次排水を実施（ポンプ設備に関しては点検後補修予定）
- 現在貯留量（7月3日15時時点）
寝屋川北部地下河川 貯留量：12.8万m³/26万m³
寝屋川南部地下河川 貯留量：0m³/63万m³
貯留率100%となった流域調節池はいずれも貯留率0%になり、その後の降雨に対応している。